

地震工学委員会

平成 24 年度 第 4 回（通算第 150 回）運営幹事会議事録

●日時：平成 24 年 10 月 15 日（月） 16:00～18:00

●場所：土木学会 C 会議室

●出席者：

小長井委員長、清野副委員長、藤原幹事長、秋山幹事、清田幹事、高橋幹事、富田幹事、濱野幹事、山本幹事、吉見幹事、尾崎氏

●配布資料

幹 150-01	平成 24 年度第 3 回運営幹事会 議事録案
幹 150-02	第 3 回研究会（案）について
幹 150-03	小委員会活動補助費追加希望への対応について
幹 150-04	H25 年度行事計画書の対応について
幹 150-05	英文論文集（招待論文）への対応について
幹 150-06	平成 24 年度運営幹事会年間計画
幹 150-07	地震工学委員会時期委員長候補者選挙 被選挙人名簿
幹 150-08	イラン北西部地震被害調査報告書
幹 150-09	第 32 回 土木学会地震工学研究発表会（2012 年）
番号なし	平成 24 年度全国大会・研究討論に関する報告

●議事

1. 前回議事録確認

藤原幹事長から資料「幹 150-01」に沿って議事録の説明があり、以下の点を確認した上で承認された。

- ・ 地震工学研究発表会での小委員会活動報告に関して、「リスク評価に基づく道路構造物・ネットワークの耐震設計に関する合同研究小委員会」より、論文 3 編を研究発表に回したい旨の要望があった。基本的に要望に応じるが、小委員会報告も予定通り行うのか確認する。

2. 報告・審議事項

（1）地震工学研究発表会関連の状況について

吉見幹事から資料「幹 150-09」に沿って準備状況等の説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 座長、プログラムは決定した。
- ・ 懇親会は会場の関係で初日（25 日）とした。

- ・ 研究発表者は 142 人（上記 1. の 3 名も含む）、その他小委員会報告が 7 コマある。
- ・ 立て看板は大原先生よりデザインを依頼済み。学生バイトが集まっていない。タイムキーパー等で最低 6 名必要。27 日の土曜日は門番も必要である。
- ・ タイムキーパーは留学生でも可能である。小長井委員長より学生を手配いただく。
- ・ 小委員会報告のプログラムは、共通小委員会を先に、研究小委員会を後にする。
- ・ 共通小委員会も含まれるので、タイトルは研究小委員会活動を小委員会活動に改める。
- ・ イラン北西部地震被害報告を 20 分くらいで宮島先生からご報告いただく。
- ・ 開会挨拶と趣旨説明は合わせて小長井委員長が行う。

（2）第 3 回研究会について

濱野幹事より資料「幹 150-02」に沿って研究会の準備状況について説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 宮古市や山田町の危機管理課の担当者に講演を打診してみたが、議会と重なる等で引き受けていただけなかった。については講演者の選出が急務である。
- ・ 日程変更の手もあるが、会場確保の面からも日程変更は難しい。
- ・ 講演者については、小長井委員長及び高橋幹事より東北地方整備局の方、藤原幹事長より J R の方で心当たりがあるので数日中にご推薦いただき、メール審議で講演者を選出する。場合によってはテーマの幅を広げることで対応する。

（3）小委員会活動補助費追加希望について

藤原幹事長より資料「幹 150-03」に沿って活動補助費の追加申請について説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 3 つの小委員会より申請のあった 90 万円はすべて内諾した。まだ 100 万円程度の残があるので、今後追加申請を募る。
- ・ 地震防災技術普及小委員会では、シンポジウムなどの開催で成果を還元する予定。
- ・ 津波避難調査小委員会では、シンポジウム、小委員会報告などで成果を還元する予定。
- ・ 地震被害調査小委員会の申請分は、共通小委員会としての委員交通費の申請である。

（4）平成 25 年度行事計画の対応について

藤原幹事長より資料「幹 150-04」に沿って来年度の行事計画について説明がなされ、各小委員会には例年通りの対応（行事計画書と予算書の作成）をお願いすることを確認した。なお、H25 年度より行事管理費が 30% にアップしたことを周知する。

（5）英文論文集（招待論文）への対応について

高橋幹事より資料「幹 150-05」に沿って英文論文集への対応について説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 論文集編集委員会より、地震工学委員会から 10 編程度を目安に出して欲しいとの依頼があった。10 編以上でも多い分は問題ない。
- ・ 内諾の取り方が難しいので、藤原幹事長から委員全員に対し依頼文書を出す。少なくとも各研究小委員会から推薦候補（トピック、著者案）を出してもらう。その結果を踏まえて抜け・重複等を調整した上で内諾手続きを進める。
- ・ 年内に推薦候補を決める。

(6) 委員長選挙への対応について

高橋幹事より資料「幹 150-07」に沿って説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 本日、推薦候補の開封作業を実施し、選出要領に従って被選挙人 4 名を選出した。
- ・ 今後の予定としては、高橋幹事から内諾確認をとり、別途立候補者をメールにて受け付ける。運営幹事会でこれらを確認した上で被選挙人名簿を確定する。

(7) 年間スケジュールについて

藤原幹事長より資料「幹 150-06」に沿って説明がなされ、今後の予定について確認した。

- ・ 上記 (6) にあるように、被選挙人を 11 月中旬に確定したいので、できれば 11 月中旬に運営幹事会を開催し、被選挙人の確認をしてもらいたい（高橋幹事）。

(8) 平成 24 年度全国大会・研究討論会に関する報告

富田幹事より、資料にもとづき今年度の全国大会・研究討論会に関する報告がなされた。

- ・ 参加者多数であり、成功裏に終わった。
- ・ 会計については後日確認する。

(9) その他

1)地震工学委員会による土木学会各賞の候補推薦に関する内規の改訂について

高橋幹事より、上記内規の改訂について以下の説明がなされ、次回の総会で高橋幹事から経緯等も含めて説明し、改訂について諮ることとなった。

- 各賞の時期にはタイムラグがあり、拡大運営幹事会をその都度開催するのは大変なため、選考委員は運営幹事会メンバーに限定することにしてはどうか？
- 選考委員会の招集時期について、「1 か月以上前」を「1 か月前後を目処」に変えてはどうか？

2)土木学会功労賞の推薦依頼について

小長井委員長宛に功労賞の推薦依頼が来ている。次回の運営幹事会で諮り、小長井委員長責任のもとで候補者を選出する。

3) 時期運営幹事の選出について

今限りで退任する運営幹事が多く、時期の運営幹事の選出について動き出す必要がある。個人レベルでの引き継ぎを優先し、後任者が決まらないようであれば、①各共通小委員会からそれぞれ選出する、②運営幹事未経験者から選出するなどに対応する。また、地震工学委員会の新任委員推薦についても、今年度は早めに各小委員会に打診する。

4) 総会準備について

12/10 の総会に向けて、以下の点について準備・手配する。

- ・ 各小委員会への中間報告書の作成依頼、来期への継続意志の確認
- ・ 議長選出（小長井委員長が人選）

5) 次回運営委員会

11月12日（月）16:00～ E会議室

以上